

## 平成18年度学術ポータル担当者研修レポート

日本貿易振興機構アジア経済研究所

高木敏朗（受講者 # 36）

澤田裕子（受講者 # 35）

### (1)発表資料の状況設定

図書館「機関リポジトリ事務局」として研究部門の職員に対し、外部出版した論文・著作物の提供を呼びかける説明会を行う。（研究所に出版部門があるため、所内出版物はリポジトリへの対応が済んでいる。）

### (2)発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改訂部分

#### 発表内容抄録：

タイトル「外部出版論文登録のお願い」

8枚スライドから構成される。機関リポジトリの意義やメリット、外部出版論文の定義、図「論文投稿と著作権委譲」を用いて著者最終版の説明、登録のメリットを詳細に説明、登録方法（図書館員による代理登録で研究者には負担がかからない）の説明、最後に外部出版論文登録のお願いをする。

#### 講師からの助言：

1. 論文登録について、出版社版がだめなのはなぜ？ → 改訂：許諾がとれればOKであると言い添える。
2. 著作権の許諾を得るときにフォーム（日・英）があればやりやすい。作成して配布してほしい。→ 改訂：あらかじめ作成して配布するとともに、ダウンロードできるようにファイルの所在を知らせる。
3. コンピュータに保存していない論文はどうしたらよいか。 → 説明：論文情報をいただければ、事務局が出版社に問い合わせる。すでに出版されている文書をスキャナで読み取ることが認められる可能性もあると紹介する。
4. 論文ファイルが図やテーブルなど複数に分かれているが、登録できるか。 → 説明：複数のファイルをひとつのメタデータにリンクできるので問題ない。
5. 中国語の論文も登録してもらえるのか。 → 説明：現在は日本語・英語論文のみ。中国語は、検索語の切り分けをどうするか検討する必要があるので、今後の課題とする。
6. 論文の容量が大きいので、登録論文をメールで送付できるか心配。 → 説明：所内ネットワーク上に共通文書を保存できる場所があるので、一時的にあげてもらえれば図書館から直接ダウンロードできる。

### 研究発表との改訂部分:

研修では、企画発表課題の状況を上記のように設定した。しかし、当研究所では同様な呼びかけを既に行っており、その提出期限を7月31日に設定してあった。提出期限後に、提供を呼びかけるプレゼンテーションは意味が無いと思われるので、リハーサル・プレゼンテーションも行わなかった。この課題を選択した理由は、同時進行している業務であったため、担当者として最も関心が高かったからである。

7月31日の提出期限後も研究者から著作権や著者最終版についての質問があり、この企画発表課題に関連した「機関リポジトリと著作権」や講師の方から頂いた助言は回答する上で大変有用であった。「論文投稿と著作権委譲」(HUSCAP作成)の図は大いに使わせて頂いた。助言の中にあつた著作権の許諾を得るフォームを作成し、研究所内のイントラネットに掲載した。出版社との交渉においても得られた知識は役立つと思われる。

リハプレゼンを行わなかったため、研修で発表した課題でレポート内容の(3)(4)については報告できないが、7月末と8月に行った図書館員向けの論文代理登録研修では若干の言及をしたので、その内容を代替として簡単に報告する。

### (3)論文代理登録研修 概要(日時、場所、発表者、発表対象、参加人数etc.)

第1回	2006年7月25日(火)	13:30~16:00
場所	図書館2階地図システム室	
講師	富士通 SE	
受講者	5名	
アシスタント	高木	
第2回	2006年8月3日(木)	13:30~16:00
場所	図書館2階地図システム室	
講師	高木	
受講者	7名	
アシスタント	澤田	

### (4) 論文代理登録研修の反響(アンケートをとった場合の結果、感想の声等)

1. 複数職員が試行的に登録を行ったことで、登録方法の問題点を洗い出すことができ、大変有益であった。
2. 参加者のひとりが、現在、機関リポジトリへの代理登録を担当している。

登録を始める前に機関リポジトリについての概要を知ってもらうよい機会になった。

**(5) その他 (備考、今後の予定と希望 etc.)**

**添付ファイル：**

論文代理登録研修資料：ARRIDE 研修.doc、論文登録の手順（参考資料）.doc

**備考：**

機関リポジトリ (ARRIDE) を OpenDOAR、ROAR、OAI Register (UIUC)、DSpaceWiki (予定) 登録済み、OAIster 及び国立学術情報学研究所によるハーベスティング実施

**予定：**

JuNII2 対応、RePEc へメタデータの登録。

**希望：**

機関リポジトリ、メタデータ、オープンアクセスなどの研修がありましたら、受講させて頂きたくよろしくお願いいたします。

研修を通じて機関リポジトリを取り巻く諸課題を理解できました。企画、開催して下さった国立情報学研究所の方々、指導して下さった講師の方々に大変感謝しております。今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。